

事務事業 No./名 称	■サービス部門 市民-28 □支 援 部 門 保健体育運営事業						
主管課	スポーツ課	関連課					
分野名	スポーツ・レクリエーション						
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及を図る。 市民のスポーツ実施率を60%にする。						
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備 考		
	人 口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	20,259	9,573	9,604			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	20,259	9,573	9,604			
	人員配置数	1.3	1.3	1.3			
	人件費(千円)	10,557	11,324	11,467			
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	30,816	20,897	21,071			
	市民1人当 りの経費(円)	174	118	119			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
体育協会・レクリエーション協会加盟社人数	△	目標値	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △進捗遅い ×後退		実績値	12,876	12,446	12,750	12,329	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
保健体育運営事業	20,259千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	■B	□C □D □E
	事業の概要	体育協会・レクリエーション協会など関係団体への指導・援助の充実等、保健体育運営全般に関わる事業を行う。				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E		
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・体育協会・レクリエーション協会との役割分担や支援のあり方を検討し、スポーツ推進委員の更なる質の向上。 ・平成25年度見直し予定のスポーツ振興基本計画の検証を行い、国のスポーツ基本計画を参しゃくし、本市の実情に即した計画に見直す。	
課題解決のための取組	・体育協会・レクリエーション協会との連携を強化するため、定期的に意見交換ができる場を継続して実施し、普及・振興に貢献した。 ・スポーツ推進委員会議の開催と研修へ参加要請を行い、地域のスポーツ振興に貢献した。 ・スポーツ振興基本計画の見直しについて、スポーツ推進審議会に諮問した。	取組の結果 □解 決 ■未解決
未解決の課題	・体育協会・レクリエーション協会との役割や支援のあり方の見直しとスポーツ推進委員の更なる質の向上。 ・スポーツ振興基本計画の見直しについて、市民や関係機関の意見等を聞くとともに、スポーツ推進審議会での審議を踏まえながら見直し作業を進める。	

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止		※□事業完了
		②妥当性	○		 B	課長等名	
		③有効性	○			スポーツ課長	
		④公平性	○			田中 良一	
					・各協会は、本市のスポーツ、レクリエーション活動の普及・振興に大きく貢献している。また、スポーツ推進委員も地域のスポーツ振興に貢献している。今後とも、支援のあり方や質の向上に向けた取り組みが必要である。 ・スポーツ振興基本計画については、平成17年策定以来8年が経過しているため、現状に即した見直しを行う。		

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
保健体育運営事業	主な個別事業	198 スポーツ推進審議会報酬 7人	144	114	○	○	○	○
		198 スポーツ推進委員報酬 64人	3,021	3,021	○	○	○	○
		198 事務補助嘱託員報酬 2人	2,057	1,835	○	○	○	○
		198 スポーツ推進委員費用弁償	71	42	○	○	○	○
		198 事務補助嘱託員費用弁償	288	166	○	○	○	○
		198 体育協会補助金	2,985	2,985	○	○	○	○
		198 レクリエーション協会補助金	177	177	○	○	○	○
		198 スポーツ事故見舞金	30	1,130	○	○	○	○
		198 スポーツ事故損害賠償金	0	10,089	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							